

(第3種郵便物認可)

空き家管理業者が協会

岐阜で
初代会
県対策協と連携も検討

放置される空き家の増加が問題になるなか、不動産や造園業者など、空き家管理を手掛ける県内二十社が「県空き家管理業協会」を設立し三十日、岐阜市藪田南のふれあい福寿会館で初代会を開いた。

各業者は空き家管理の依頼を受けると、定期的に家を訪れ、換気や庭の手入れをしている。こうした仕事を広く知ってもらおうと協会をつくった。

市坂井町、不動産コンサルティング会社経営の名和泰典さん(五〇)は「使えるものは放っておかず、なるべく生かす考え方を伝えていこう」と呼び掛けた。

協会は、県などが昨年七月に設立した「県」と、県内には二〇一三年、空き家は十三万五千戸あり、二十五年前の約二・五倍になった。五月二十六日に、倒壊の恐れのある



県空き家管理業協会の会長に就任し、あいさつする名和泰典さん＝岐阜市藪田南のふれあい福寿会館で

空き家を各自治体が撤去できることを盛り込んだ法律が施行された。
(安部伸吾)